

平成31年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月13日

上場会社名 株式会社ユニバーサル園芸社
 コード番号 6061 URL <http://www.uni-green.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日
 配当支払開始予定日

上場取引所 東
 (氏名) 森坂 拓実
 (氏名) 安部 豪
 TEL 072-649-2266

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年6月期第2四半期の連結業績(平成30年7月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年6月期第2四半期	3,927	10.7	371	6.6	394	6.3	225	13.2
30年6月期第2四半期	3,549	6.3	348	27.7	370	3.4	260	1.4

(注) 包括利益 31年6月期第2四半期 270百万円 (3.1%) 30年6月期第2四半期 279百万円 (42.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年6月期第2四半期	46.97	
30年6月期第2四半期	54.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年6月期第2四半期	8,076	6,615	81.9
30年6月期	7,800	6,441	82.5

(参考) 自己資本 31年6月期第2四半期 6,613百万円 30年6月期 6,438百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年6月期		0.00		20.00	20.00
31年6月期		0.00			
31年6月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年6月期の連結業績予想(平成30年7月1日～平成31年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,330	13.2	801	1.7	846	4.7	540	33.9	112.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年6月期2Q	5,025,000 株	30年6月期	5,025,000 株
期末自己株式数	31年6月期2Q	220,422 株	30年6月期	220,422 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年6月期2Q	4,804,578 株	30年6月期2Q	4,804,623 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競争状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクの不安定要因により、実績の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、経済政策等の効果による企業収益や雇用環境の改善を背景に、消費の持ち直し等により景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、国内で相次いで発生した自然災害の影響、少子化による労働人口減少、米中の通商問題の長期化など、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

このような環境のもと、当社グループは主力事業であるグリーン事業において、レンタルグリーンにおける新規顧客の獲得や販売促進のためのマーケティング活動に引き続き注力したほか、生花店及び園芸雑貨店を中心とした小売事業の集客数増加や経費削減などの収益力強化に係る取組を引き続き進めてまいりました。また園芸におけるネット通信販売において国内では先駆者的な存在である園芸ネット株式会社をグループ化し小売事業に加え、店舗とネット通信販売との相乗効果を図る取り組みを進めだしております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,927,946千円（前年同四半期比10.7%増）、営業利益は371,933千円（同6.6%増）、経常利益は394,276千円（同6.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は225,654千円（同13.2%減）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

各セグメントの経営成績の数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

〔グリーン事業〕

グリーン事業につきましては、米国子会社のローリング・グリーンズ・インク社の人材流出による売上の低迷等もありましたが、国内は景況感の緩やかな需要回復が進み、契約数の増加等により、グリーン事業全体では増収増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は2,911,807千円（前年同四半期比10.5%増）、営業利益は354,608千円（同6.5%増）となりました。売上高営業利益率は、関東エリアは22.2%（前年同四半期24.7%）、関西エリアは24.8%（同23.6%）、海外エリアは△18.4%（同△15.1%）となりました。

〔卸売事業〕

卸売事業につきましては、販売先の拡大等の営業強化に引き続き取り組み、増収増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は546,528千円（前年同四半期比26.5%増）、営業利益は44,435千円（同29.5%増）となりました。

〔小売事業〕

小売事業につきましては、当第2四半期連結会計期間より園芸ネット株式会社を連結子会社化したことにより、増収になっておりますが、引き続き設備投資の償却負担が回収できなかったこと等によりセグメント損益は損失となっております。

以上の結果、当セグメントの売上高は612,036千円（前年同四半期比17.5%増）、営業損失は41,266千円（前年同四半期は30,327千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は8,076,664千円となり、前連結会計年度末に比べて276,455千円の増加（3.5%増）となりました。

このうち流動資産は3,790,018千円となり、前連結会計年度末に比べて223,727千円の増加（6.3%増）となりました。これは主に受取手形及び売掛金が187,859千円増加したこと等によるものであります。また、固定資産は4,286,646千円となり、前連結会計年度末に比べて52,728千円の増加（1.2%増）となりました。これは主にのれんが39,594千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,460,909千円となり、前連結会計年度末に比べて101,840千円の増加（7.5%増）となりました。これは主に買掛金が44,000千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は6,615,755千円となり、前連結会計年度末に比べて174,614千円の増加（2.7%増）となりました。これは主に、利益剰余金が129,563千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在におきましては、平成30年8月13日に発表した連結予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,254,264	2,170,797
受取手形及び売掛金	784,231	972,091
有価証券	100,043	102,188
商品及び製品	334,656	377,923
原材料及び貯蔵品	869	911
その他	105,768	179,119
貸倒引当金	△13,543	△13,013
流動資産合計	3,566,291	3,790,018
固定資産		
有形固定資産		
土地	946,274	987,321
その他	2,168,723	2,271,691
減価償却累計額	△1,277,944	△1,334,440
その他（純額）	890,778	937,250
有形固定資産合計	1,837,053	1,924,571
無形固定資産		
のれん	816,056	855,651
その他	38,662	35,445
無形固定資産合計	854,718	891,097
投資その他の資産		
投資有価証券	165,398	63,148
繰延税金資産	472,549	499,620
投資不動産	506,735	508,844
減価償却累計額	△116,446	△120,049
投資不動産（純額）	390,289	388,795
その他	518,626	524,131
貸倒引当金	△4,717	△4,717
投資その他の資産合計	1,542,146	1,470,977
固定資産合計	4,233,918	4,286,646
資産合計	7,800,209	8,076,664

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	237,778	281,779
1年内返済予定の長期借入金	75,197	19,770
未払法人税等	176,409	208,939
賞与引当金	3,290	3,456
その他	403,895	467,777
流動負債合計	896,570	981,725
固定負債		
長期借入金	6,154	12,652
退職給付に係る負債	177,959	182,841
長期未払金	217,341	218,650
その他	61,041	65,039
固定負債合計	462,497	479,184
負債合計	1,359,068	1,460,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	172,770	172,770
資本剰余金	122,488	122,488
利益剰余金	6,389,934	6,519,497
自己株式	△153,931	△153,931
株主資本合計	6,531,261	6,660,824
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△327	△126
為替換算調整勘定	△92,271	△47,429
その他の包括利益累計額合計	△92,599	△47,556
非支配株主持分	2,478	2,487
純資産合計	6,441,141	6,615,755
負債純資産合計	7,800,209	8,076,664

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成30年12月31日)
売上高	3,549,066	3,927,946
売上原価	1,329,575	1,525,987
売上総利益	2,219,491	2,401,959
販売費及び一般管理費	1,870,710	2,030,026
営業利益	348,780	371,933
営業外収益		
受取利息	2,341	832
受取配当金	238	231
投資不動産賃貸料	19,530	11,360
為替差益	3,064	1,247
その他	8,103	24,008
営業外収益合計	33,277	37,681
営業外費用		
支払利息	55	1,447
不動産賃貸原価	9,919	8,869
その他	1,095	5,020
営業外費用合計	11,069	15,338
経常利益	370,988	394,276
税金等調整前四半期純利益	370,988	394,276
法人税等	110,951	168,679
四半期純利益	260,037	225,597
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	—	△57
親会社株主に帰属する四半期純利益	260,037	225,654

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成30年7月1日 至 平成30年12月31日）
四半期純利益	260,037	225,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	300	201
為替換算調整勘定	19,089	44,907
その他の包括利益合計	19,389	45,109
四半期包括利益	279,426	270,706
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	279,426	270,697
非支配株主に係る四半期包括利益	—	8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成30年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	370,988	394,276
減価償却費	95,759	66,265
のれん償却額	42,580	47,200
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△275	△519
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△4,853	4,882
受取利息及び受取配当金	△2,580	△1,064
支払利息	55	1,447
為替差損益（△は益）	△3,643	△1,387
売上債権の増減額（△は増加）	△165,240	△184,682
たな卸資産の増減額（△は増加）	△17,977	△20,723
仕入債務の増減額（△は減少）	11,335	46,639
未払消費税等の増減額（△は減少）	△3,547	△10,953
その他	6,690	10,500
小計	329,292	351,880
利息及び配当金の受取額	4,082	1,970
利息の支払額	△55	△1,447
法人税等の支払額	△156,267	△135,861
営業活動によるキャッシュ・フロー	177,051	216,542
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	50,000	100,000
投資有価証券の取得による支出	△68	△69
有形固定資産の取得による支出	△134,221	△100,342
無形固定資産の取得による支出	△4,592	△900
投資不動産の賃貸に係る支出	△7,168	△6,175
投資不動産の賃貸による収入	19,331	12,289
定期預金の預入による支出	△100,000	△50,000
定期預金の払戻による収入	100,000	50,000
保険積立金の積立による支出	△2,519	—
保険積立金の払戻による収入	—	5,522
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△150,000
その他	△1,373	△18,777
投資活動によるキャッシュ・フロー	△80,611	△158,452
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△49,998	△55,551
長期借入れによる収入	—	6,213
リース債務の返済による支出	△463	△3,125
配当金の支払額	△95,923	△96,342
財務活動によるキャッシュ・フロー	△146,384	△148,805
現金及び現金同等物に係る換算差額	670	7,246
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△49,273	△83,468
現金及び現金同等物の期首残高	1,687,791	1,938,344
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,638,518	1,854,875

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成29年7月1日 至平成29年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
外部顧客への売上高	1,067,755	789,216	777,644	2,634,616	394,049	520,401	3,549,066	-	3,549,066
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	887	-	887	37,909	370	39,168	△39,168	-
計	1,067,755	790,104	777,644	2,635,504	431,958	520,772	3,588,235	△39,168	3,549,066
セグメント利益 (△は損失)	263,967	186,108	△117,136	332,939	34,312	△30,327	336,923	11,857	348,780

(注) 1 セグメント利益の調整額11,857千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成30年7月1日 至平成30年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
外部顧客への売上高	1,210,208	921,592	778,637	2,910,438	405,622	611,886	3,927,946	-	3,927,946
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1,369	-	1,369	140,906	149	142,425	△142,425	-
計	1,210,208	922,961	778,637	2,911,807	546,528	612,036	4,070,372	△142,425	3,927,946
セグメント利益 (△は損失)	268,862	229,262	△143,516	354,608	44,435	△41,266	357,776	14,156	371,933

(注) 1 セグメント利益の調整額14,156千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「小売事業」セグメントにおいて、園芸ネット株式会社の株式を取得して連結子会社としたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては62,552千円であります。